

男子注目！

男性も将来のためにしっかり覚えて

おきましょう。

**ドラッグレター（２０１９年　３月号）**

１年生

妊娠と医薬品　～将来のために～

　妊娠の周期は、最終月経の始まった日を**０周０日**として数えていき、出産の予定日は

**４０周０日**です。妊娠周期によって、医薬品の服用がお腹の赤ちゃん（胎児）に大きく

影響する時期があります。

最終月経の

始まり

最終月経の

終わり

受精

着床

次の月経予定日

０日

妊娠１週

妊娠２週

妊娠３週

妊娠４週

妊娠6週

妊娠５週

妊娠1ヵ月

妊娠２ヵ月

**無影響期**

絶対過敏期

**無影響期**

|  |  |
| --- | --- |
| （～妊娠3週末**）** | 胎児に奇形は起こらない。 |
| （妊娠4～７週末） | 医薬品の影響で胎児に奇形が起こりやすい  最も危険な時期！！！ |
| 相対過敏期  　　　　（妊娠8～15週末） | 胎児の奇形にまだまだ注意が必要！ |
| 比較過敏期～潜在過敏期  　　　　（妊娠１６週～出産） | 胎児に奇形は起きないが、成長に影響が出る。 |

絶対過敏期

　困ったことに、一番危険な絶対過敏期（＝妊娠４週から）は、本来次の生理が始まるはずの週なのです。計画的な妊娠でなければ、生理が遅れていると思って妊娠していることに気づかず、うっかり医薬品を飲んでしまうかも・・・・。将来のためにしっかり覚えておきましょう。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

**《 －出張相談会－　 保健室に学校薬剤師が来ます 》**

ドラッグレター、医薬品や健康などについて、質問・相談が

ある人は保健室まで！

**●月●日　●時●分～●時●分**

作成・発行元